動き出す記憶　―60 年前の美濃加茂―

会期　9月16日(土)－10月29日(日)

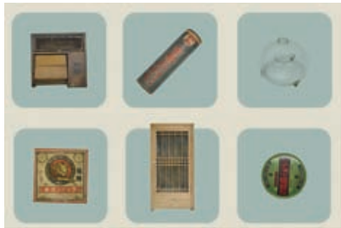
会期中の休館日　9月19日、25日
10月 2日、10日、16日、23日

会場　美術工芸展示室

観覧無料

当館では資料として保管されている８㎜フィルムなどの映像用フィルムのデジタル化を進めています。今回は、デジタル化された昭和３０年代から４０年代の美濃加茂市を中心とした映像を解説とともに展示いたします。実際に映像をご覧いただくことで時をこえて当時の人々の息遣いを感じていただければと思います。

ていねいな暮らしと道具展
害虫とうまく付き合う暮らし



会期　9月9日(土)－2024.3月24日(日)

会場　民具展示館　観覧無料

かつて暮らしの中で使われてきた害虫に関する道具を中心に、昔の暮らしとその移り変わりを紹介します。

予告　瀬田哲司　メダルのはなし–銀の植物と銀色の記憶–

会期　2024. 1月13日(土)－2月25日(日)

会期中の休館日　1月15日、22日、29日、2月5日、13日、19日

観覧無料

会場　企画展示室・美術工芸展示室

R is for Rocket 1989 / The 67th Minokamo art exhibition 2022

「芸術と自然」をテーマにした現代美術レジデンスプログラム。

今年度は、東京藝術大学大学院美術研究科で鋳金を学び、現在は国際的なメダルアーティストとして活躍する瀬田哲司（1960 年 -）が手掛けるメダルの数々を展覧します。新作として、みのかも文化の森の植物を原型にしたメダルを展示します。更に、作家が 1989 年の美濃加茂彫刻シンポジウムで前平公園に設置した彫刻「ウは宇宙船のウ」の制作の様子などを振り返ります。

SHOP NEWS　刊行物の紹介

商品価格は税込みです。

2022.7.16 から 8.28 まで開催した企画展の記録集です

「ハコ展記録集」
A4判 P78　1,500円

Instagram　Follow Me!

minokamo_bunkanomori_official

展覧会情報のほか、風景・アート・収蔵資料など、みのかも文化の森の魅力を発信していきます。

Webでも楽しもう！文化の森

【ふらりと展示室】

美濃加茂市民ミュージアムにある常設展示室をWEB上で見られます。気軽に「ふらり」と立ち寄って、気の向くままにページを開いてみてください。そして、何かここで感じたことがあれば、それを確かめにこの展示室や現地を訪れてみてはいかがですか…

文化の森HP http://www.forest.minokamo.gifu.jp/
→ふらりと展示室

【美濃加茂事典】

美濃加茂地域を中心とすることがらを事典形式で解説。

文化の森HP
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/
→データベース→美濃加茂事典

■ご利用のご案内

開館時間　9:00～17:00
（ただし、施設の貸出し利用は8:30～22:00まで）

休 館 日　月曜日
（ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館）
年末年始
【9･10･11･12 月の休館日】
9月11日、19日、25日
10月 2日、10日、16日、23日、30日
11月 6日、13日、20日、27日
12月 4日、11日、18日、25日、29日～2024年1月3日

■交通

●鉄　道　JR名古屋駅から美濃太田駅まで
東海道本線・高山本線経由、
特急「ひだ」で約40分
美濃太田駅北口から徒歩約17分

●自動車　東海環状自動車道美濃加茂ICから約5分

●あい愛バス
JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車
（乗車時間約10分）
※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホームページをご覧下さい。
https://aiai-bus.com/

行き

美濃太田駅北口発	文化の森着
9:08	9:18
10:48	10:58
13:33	13:43
15:15	15:25

帰り

文化の森発	美濃太田駅北口着
9:59	10:10
11:39	11:50
14:24	14:35
16:06	16:17

運賃 ／一般 100円　中学生以下無料

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

〒505-0004
岐阜県美濃加茂市
蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL：0574-28-1110
FAX：0574-28-1104

minokamo city museum

…想いを 巡らし、はじまる森…

MUSEUM NEWS みのかも文化の森 vol.111

2023年9月15日発行

森が大切にしているもの　12

「加茂郡太田町暴風罹災戸数景況図」

大正元（1912）年9月23日、「大正風」とよばれる台風による大災害で、太田町では多数の住居や議事堂、太田小学校などの施設が全半壊しました。この地図は、当時の太田町内の建物への被害状況を示すものです。色で塗られたところは特に被害の大きかった場所でしょう。そのすさまじさを物語ると同時に、役場による綿密な調査と被害の把握が、人々の救援活動に繋がったことがわかります。

Bunkanomori Special exhibition !

2023年度 早稲田大学・美濃加茂市 文化交流事業 共催展

生誕150年 津田左右吉と藝術

心を寄せた美術・音楽・演劇の世界

津田左右吉

●会　期　2023. 9/16(土)－10/22(日)

会期中の休館日　9月19日、25日　10月2日、10日、16日

●会　場　美濃加茂市民ミュージアム 企画展示室

●観覧料　無料

主催：早稲田大学文化推進部文化企画課・美濃加茂市民ミュージアム
協力：津田左右吉博士顕彰会

津田の遺品／
ロダン「永遠の春」写真額

美濃加茂市下米田町に生まれた歴史学者・津田左右吉（1873～1961年）は、名古屋を経て上京し、東京専門学校（現早稲田大学）に学びました。津田の研究の対象は歴史のみならず思想や文学など幅広い分野にわたり、後世に多大な影響を残しました。

津田が明治時代に書いた日記や大正から昭和初期につづった日信を読むと、研究活動の傍らで展覧会や音楽会、劇場へと出向き、藝術に親しんだ様子が分かります。白馬会など新しい団体の美術展、和洋の音楽を演奏する明治音楽会、坪内逍遙の率いる文芸協会の演劇など、津田は各時代の藝術の動向に関心を寄せました。洋書が並ぶ書斎には、美術・音楽・演劇に関する藝術論集や画集も含まれ、絵画も飾られていました。

本展では津田が見聞きし心を寄せた藝術を明らかにし、美的な感性を探ります。この展覧会は当館での開催の後、早稲田大学歴史館（11月18日～12月17日）へ巡回します。

forum & event	●日時	●会場	●内容
ミュージアムトーク	9 月 17 日(日) 10 月 14 日(土) ①10:00-11:00 ②13:30-14:30	企画展示室	担当学芸員が展示室をご案内します。 ■ 参加料：無料
津田左右吉の「言葉」を読む	10 月 1 日(日) 14:00-15:00	企画展示室	展示室で津田の日記と日信を みのかも「声のドラマ」の会 のメンバーが朗読します。 ■ 参加料：無料

第17回　博学連携フォーラム

ミュージアムで対話型の学びをめざして

「博学連携」とは、博物館と学校が相互に連携・協力し子どもの教育に当たる取り組みです。博学連携フォーラムは、関係機関や一般の方々に子どもたちの博物館での学習について、講演や意見交換を通じて、博学連携についてみなさんと共に考える機会としています。

●日　時　10月20日（金）13：30（受付開始）14：00～16：30

●会　場　緑のホール　**参加無料**　※当日受付可

●フォーラム

【講演】	「対話型鑑賞プログラムの楽しみ方（活用の仕方）をナビゲート！～どこからそう思う？からはじめよう～」 講師：鈴木 有紀氏（愛媛県美術館 学芸員）
【意見交換会】	子どもたちが仲間とともに、主体的に学ぶために博物館ができることを、参加者の皆さんと考えます。

「太郎洞池の絵図を見ているところ」

＊ 9:30～13:40　美濃加茂市立下米田小学校4年生　社会科「きょう土の伝統・文化と先人たち」の授業を行っています。
（12:00～12:50 昼食休憩）

夏休み中学生ボランティア

コロナ禍で中止していた「夏休み中学生ボランティア」を再開しました。内容は、夏休みに開催する子ども向けのイベント「文化の森で夏あそび」や「ふらっとみゅーじあむ」の運営サポートです。参加した中学生からは「大変なだけではなくて楽しかったです」「他校の子とたくさん話をすることができたのでよかったです」「バッジをもらった時とてもうれしそうな子がいてとてもよかったです」という声が上がりました。また、イベントに参加した子どもからは「おにいさんおねえさんやさしかった」、保護者の方からは「ボランティアのお兄さんお姉さんがとてもよく面倒を見てくれて、子どもたちも喜んでいました！」といった声が寄せられました。

普段とは違う場所で様々な人と関わりをもち、有意義な時間を過ごせたのではないでしょうか？ボランティアに参加してくれた生徒たちは、活動を終えて、とても充実感に満ちた顔をしていました。

第25回　朗読フェスティバル

みのかも「声のドラマ」の会、朗読講座受講生の朗読と講師の公演を行います。

主催：みのかも「声のドラマ」の会・共催：美濃加茂市

	11月18日（土）	11月19日（日）
受講生による朗読 ●入場無料（自由席）	13：00～15：30 【作品】 •「117の伝説」小松知佳/作 •「おいでませ、かつぶし町」植原翠/作 •「臨時ダイヤ」名取佐和子/作	13：00～14:30 【作品】 •「北へ帰る」戸川幸夫/作 •「めぐりあい」浅田次郎/作
講師の公演 ●入場料　1,000円（自由席）	16：00～17：00	15：00～16：00
	【出演】戸村美智子・岡 摂子 ※講師の公演作品は両日とも同作品です。	

チケットは10月6日（金）より、文化の森総合案内にて販売いたします。電話予約可。（0574-28-1110）

美濃加茂事典が登録1000件を達成しました!!

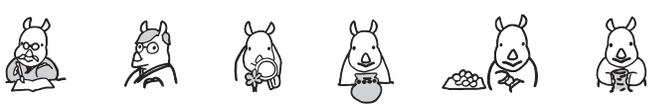
文化の森ホームページで公開中！ QRコード →

美濃加茂版ウィキペディアともいえる「美濃加茂事典」を立ち上げたのは2011年。毎年項目を追加し続け、2023年6月、ついに登録件数1000件に到達しました。すべて専門の学芸員がこれまでの調査などをもとに執筆したものです。これからも明らかになった情報は、そのつど更新し充実を図っていきます。ぜひご活用ください。

美濃加茂事典 とは？

地域に関わる項目を50音順に並べ、項目ごとに簡単な解説と関連事項を示した百科事典です。関連事項では、ミュージアムの収蔵資料（約74,000点公開）をはじめ、『美濃加茂市史』など地域に関する基本的文献の情報を示し、また関連するデータベースや過去の展覧会の情報など、さまざまなリンクが貼られています。

人物・歴史	（518件）	
自然史	（172件）	
考古学	（ 43件）	
民　俗	（109件）	
美　術	（158件）	/1000件



常設展示室「群像みのかも」にて展示替えを行いました

「群像みのかも」コーナーと岸 義人氏の展示（左）

みのかも文化の森では、常設展示室において美濃加茂の地に関わりのある郷土ゆかりの偉人を紹介しています。このたび、この「群像みのかも」のコーナーにて一部展示替えを行いました。郷土の偉人として新たにご紹介するのは、天然物化学という分野の第一線で活躍された化学者・岸義人博士（1973～2023）です。名古屋大学の助教授を経て1974年に渡米、ハーバード大学の教授となった岸博士ですが、幼い頃の多感な時期はこの美濃加茂の地で過ごされています。ここでは岸博士の残された数々の業績や美濃加茂での幼少期の姿を、写真やいくつかの展示品とともに紹介しています。ぜひご覧ください。

イベント

minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●会場	●参加料	●定員
9/ 9(土) ～ 3/24(日)	ていねいな暮らしと道具展 害虫とうまく付き合う暮らし	かつての暮らしの中で使われてきた害虫に関する道具を中心に、昔の暮らしとその移り変わりを紹介します。	民具展示館	無料	―
9/16 (土) 14:00-15:00	第 232 回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品：「リリアン」 山田太一 / 作 作品：「ムシヤシナイ」髙田 郁 / 作	緑のホール	無料	106 名
10/21 (土) 14:00-15:00	第 233 回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品：「小夜の月」 坂井希久子 / 作	緑のホール	無料	106 名
11/16 (木) ～26 (日) 9:00-17:00	第 68 回 美濃加茂市美術展	市民公募による展覧会です。日本画、洋画、彫刻・彫塑・工芸、書、写真の 5 部門にわたって入賞入選作品を展示します。（最終日のみ 15:00 まで）	企画展示室 美術工芸展示室 エントランスホール	無料	―
12/ 1 (金) ～3 (日) 9:00-17:00	美濃加茂市こども展	市内小中学校の児童・生徒の作品展です。俳句、書写（硬筆・毛筆）、絵画、工作彫塑、技術・家庭科の作品を展示します。 お問合せ：教育センター（TEL0574-28-3255）	企画展示室 美術工芸展示室 展示ホール	無料	―
12/ 2 (土) 13:30-15:30	わくわくドキドキ 科学の広場	わくわくドキドキ楽しい科学コーナーがいっぱい！子どもたちの参加を待っています。 お問合せ：教育センター（TEL0574-28-3255）	エントランス ホール	無料	―
12/ 9 (土) 14:00-15:00	第 234 回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品：「イブのクレヨン」 森　浩美 / 作　他	緑のホール	無料	106 名

ていねいな暮らし講座

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
11/11 (土) 9:30-12:00	秋を染める	秋の草木でＴシャツを染めます。 持ち物：白いＴシャツ（綿）、エプロン、ビニール袋、ゴム手袋、ぞうきん	要 事前申し込み 【 9/23 (土) ～ 10/ 7 (土) 】	生活体験館 「まゆの家」	300円	12名

まゆの家
年中行事
自由観覧

門松立て　12 / 9（土）～1 /7（日）

かつてこのあたりでみられた簡素な門松を立てます

四季を食べる講座

minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
11/ 2 (木) 10:30-13:30	手作り豆腐	地元産の大豆から作る豆腐です。 持ち物：エプロン、三角巾	要 事前申し込み 【9/21(木)～10/ 5(木)】	生活体験館 「まゆの家」 （受付も）	500円	15名
12/ 7 (木) 10:30-13:30	大歳のごっつおと おせち料理	美濃加茂ならではの年越しのごちそうとおせち料理をマスターしましょう。 持ち物：エプロン、三角巾	要 事前申し込み 【10/26(木)～11/ 2(木)】		600円	15名

アートな１日講座

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
10/22（日） 10:00−12:00	鋳造ワークショップ ①	メダルアーティストの瀬田哲司氏を講師に迎えて森の素材を使ってブロンズメダルの造形をします。 作品は後日鋳造してお渡しします。	要 事前申し込み 【 9/12(火)～10/ 1(日) 】	生活体験館 「まゆの家」	1,000円	10名
1/14（日） 10:00−12:00	鋳造ワークショップ ②	森の素材を使って型を造形します。 作品は後日鋳造して、1 月 13 日から始まる企画展・瀬田哲司展の会場内で展示します。	要 事前申し込み 【11/21(火)～12/12(火)】		1,000円	10名

木立に響く逍遙　vol.11「笛と邦楽囃子の世界」

とき **10月27日(金)　18:00 ～19:30**
(開場17:30)

会場 **エントランスホール**

定員 **100名**　**入場料** **500円**（全席自由席）

文化の森にてチケットを 9/29(金) から販売いたします。
【同日 9:00から電話予約可　(0574-28-1110)】

プログラム
- 抒情歌集より
- 笛・囃子の楽器紹介
- 三番叟 ー2023みのかも版ー
- インプロビゼーション
  ー皆様のお題によるー
- 白い月（福原徹 作曲）
- 獅子（乱序・狂ヒ）　ほか

出演：福原徹、福原百之助

逍遙が愛した古典芸能の世界を皆様にお楽しみいただきたいと思います。

＊内容につきましては、変更となる場合があります。詳細は文化の森ホームページをご覧ください。

事前申し込みについて

電話、FAX による受付は行いません。右記のいずれかの方法でお申し込みください。

■文化の森ホームページ講座専用申込フォーム
こちらの QR コードからもお申し込みできます。→
■はがき（住所、氏名、電話番号、希望講座を記入）
■ご来館
※応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は郵送にてお知らせいたします。

講座にお申し込みいただいた個人情報は、以下の項目のみに使用します。
1. お申し込みに関する問合せ
2. 講座開催に関する連絡
3. 抽選結果の通知

※イベントや講座について、今後の予定や定員が変更になる場合がありますので、文化の森ホームページでご確認いただくか、電話でお問合せください。